

学校等の適正規模適正配置に関する基本方針
【改定版】

令和 6 年 3 月
与謝野町教育委員会

はじめに

与謝野町教育委員会では、平成21年5月に「教育・保育環境のあり方に関する提言書」が町長に提出されたことを受け、児童・生徒数等の現状及び将来予測の再調査を実施し、「学校等の適正規模適正配置に関する基本方針」としてまとめました。

この基本方針では、小学校の統合時期は平成34年度を目途として、岩滝地域については岩滝小学校、加悦地域については加悦小学校、野田川地域については市場小学校の既存校舎を活用することを前提としており、その報告を平成23年9月に町長に行いました。

また、この基本方針については「与謝野町子ども・子育て会議」に諮問し、建議を求めたところ、再編の時期に関しては、平成34年度を目途とする一斉再編ではなく、再編が可能なエリア（地域）から速やかに再編を進めることとしてほしいという答申をいただきました。

このような動きの中、平成26年12月に岩屋区から与謝野町長に対して平成28年4月より、「岩屋小学校の児童が市場小学校に通学できるようにお願いしたい」という要望があったため、市場小学校への編入に係る協議や手続きを完了し、平成28年度からは岩屋小学校区の児童を市場小学校に編入しました。

こうしたことを受け、児童数の推移を精査するとともに収容可能教室等の実態把握を行ったうえで、平成28年5月に「学校等の適正規模適正配置に関する基本方針」を改定いたしました。

しかし、野田川地域の統合校舎として活用を前提としていた市場小学校の既存校舎は、耐用年数の超過による老朽化の進行、さらには多様な児童の実態や様々な学習スタイルに対応するためには教室数が不足するという状況が明らかになりました。

さらに加悦地域においては、小中学校の9年間が1学年1学級となりクラス替えもできない状況が想定されることから、平成28年度の見直しの際には示されなかった加悦中学校と江陽中学校の統合についても、基本方針の趣旨を踏まえ今後の方向性を示すことが必要であると考えました。

よって、改めて児童生徒数の推移を精査するとともに将来予測を立て、必要学級数の把握を行った結果を基にした「学校等の適正規模適正配置に関する基本方針」に見直すことといたしました。

与謝野町教育委員会では、この新たな基本方針に基づき、学校等の適正規模適正配置を推進していきます。

目 次

第1	基本的な考え方	1
(1)	教育的な観点より	1
(2)	地域とともにある学校の観点より	1
第2	学校等の適正規模適正配置	2
(1)	公立幼稚園・保育所（園）	2
(2)	小学校	2
(3)	中学校	4
(4)	通学距離及び通学時間	5
第3	配慮すべき点	6
(1)	地域とともにある学校の観点	6
(2)	統合後の通学	6
(3)	施設整備	6
(4)	教員配置上の配慮	6
(5)	交流事業の配慮	6
(6)	跡地活用	6
第4	「基本方針」の見直しについて	7

◎ 参 考

与謝野町の児童数の現状と将来予測	8
●小学校	
別表1 年齢別人数の推移・推計	8
別表2 学校別・学年別児童数の推移	8
●中学校	
別表3 年齢別人数の推移・推計	15
別表4 学校別・学年別生徒数の推移	15

第1 基本的な考え方

一層の少子化が進行する状況を踏まえ、今後の学校等の適正規模適正配置については、改めて将来的な町内学齢人口の動向や状況を把握・予測するとともに、未来社会を生きる子どもたちのために、近年の教育をめぐる新たな動向にも積極的に注視しなければなりません。

ここに下記の観点で、平成28年度に改定された基本方針を再改定し、児童生徒にとってより望ましい適正規模適正配置に基づいた学校づくりを推進していきます。

記

(1) 教育的な観点より

学校では、単に教科等の知識や技能を習得させるだけではなく、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、違いを認め合い、協働し合い、切磋琢磨することを通じて思考力、表現力、判断力や問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要です。また、人工知能A Iの飛躍的な進化や Society5.0の社会が到来する未来社会を生きる子どもたちには、教育D Xなどの新たな動きに対応するとともに、主体的・創造的に生きることができる人間ならではの資質や能力を学校で育ませることも同様に重要になります。

そのためには施設設備の充実はもとより、一定規模の児童生徒集団が存在することで人と人をつなぎ、かつ生きる力となる学力の向上に資する様々な場面でのコミュニケーション力を育むことができる環境が整えられている。教職員の経験年数のバランスとともに専科教員、特別支援教育など専門性に秀でた教職員集団が存在している。さらには発達上の課題等を持つ児童生徒への支援員や心のケアに携わるスクールカウンセラー等のスタッフが整えられている。これらの環境整備を目指します。

(2) 地域とともにある学校の観点より

小中学校は児童生徒の教育のための施設であるとともに、各地域においては防災、交流の場としても重要な役割を果たしてきました。

また、学校教育は地域の未来の担い手である子供たちを育む営みでもあり、これからの町づくりの在り方と密接不可分であると考えます。

そして従来から地域における様々な活動は、主に自治区あるいは旧村単位で行われてきた歴史がありますが、人口減少に加え価値観やライフスタイルの多様化に伴い、地域コミュニティに対する意識の希薄化や地域における担い手不足等の課題が顕在化しつつあります。

このような状況を踏まえるならば、学校だけで従来の地域の枠組を前提とした「地域とともにある学校」を目指しても、様々な点で課題が生ずることが懸念されます。

今後は、子どもファーストの教育的な観点からの新たな地域コミュニティと学校や子どもたちを持続的につなぐ取り組みを目指します。

第2 学校等の適正規模適正配置

(1) 公立幼稚園・保育所（園）

H21 制定

当面、現状維持とし、今後、提言で指摘のあった点等についてはその改善策を検討します。なお、将来においては保幼一元化も視野に入れた幼児教育の在り方についても検討します。

H28 改定

与謝野町において運営している幼稚園、認定こども園、保育所（園）の8園については、地域住民の意見を聞きながら、ニーズに合ったサービスを検討の上、「幼保連携型認定こども園」の整備を計画的に進めていきます。

- ①加悦地域の3保育園の統合による認定こども園
- ②野田川地域の1幼稚園と3保育所の統合による認定こども園

R6 改定

のだがわこども園と2保育所の統合による野田川地域の新たな認定こども園を石川保育所及び周辺地に建設することにより、3園による町内における幼保連携型認定こども園体制を完成させます。

(2) 小学校

●適正規模

H21 制定

小学校の配置については、特別支援学級を除いて、全校12学級程度、学年2学級程度、1学級25人～30人を「適正規模」とし、「適正規模」が実現し得るタイミングにおいて、岩滝地域、加悦地域、野田川地域のそれぞれに1つの小学校を配置することとし既存校舎を活用します。岩滝地域は岩滝小学校、加悦地域は加悦小学校、野田川地域は市場小学校とします。ただし、通学する小学校の変更は1回を超えないこととします。

H28 改定

○小学校の配置については、特別支援学級を除いて、全校12学級程度、学年2学級程度、1学級25人～30人を「適正規模」としますが、次の3点を基本として1学級あたりの人数を振り分けて算定基準とします。

- ・1学級あたりの上限を35人とします。
- ・2学級以上の学級を有する学年においては、過度に小規模な学級が編制されることのないよう、算定上の下限を18人とします。
- ・学級規模が大きくなるに従って、上限を30人に近づけるよう、段階を設けます。

1 学年の学級数が 1 学級の場合	1 ～ 3 5 人
2 学級の場合	1 8 ～ 3 4 人
3 学級の場合	2 3 ～ 3 2 人

※上記の算定基準は、京都式少人数教育の学級編制に準ずる考え方です。

- 「適正規模」が実現し得るタイミングにおいて、岩滝地域、加悦地域、野田川地域のそれぞれに 1 つの小学校を配置することとし既存校舎を活用します。岩滝地域は岩滝小学校、加悦地域は加悦小学校、野田川地域は市場小学校とします。ただし、通学する小学校の変更は 1 回を超えないこととします。

R6 改定

- 小学校の配置については、特別支援学級を除いて、全校 1 2 学級程度、学年 2 学級程度、1 学級 2 5 人～3 0 人を「適正規模」としますが、次の 3 点を基本として 1 学級あたりの人数を振り分けて算定基準とします。

- ・ 1 学級あたりの上限を 3 5 人とします。
- ・ 2 学級以上の学級を有する学年においては、過度に小規模な学級が編制されることのないよう、算定上の下限を 1 8 人とします。
- ・ 学級規模が大きくなるに従って、上限を 3 0 人に近づけるよう、段階を設けます。

1 学年の学級数が 1 学級の場合	1 ～ 3 5 人
2 学級の場合	1 8 ～ 3 4 人
3 学級の場合	2 3 ～ 3 2 人

※上記の算定基準は、京都式少人数教育の学級編制に準ずる考え方です。

- 岩滝地域は岩滝小学校、加悦地域は加悦小学校としますが、野田川地域は「適正規模」が実現し得るタイミングにおいて 1 つの小学校を配置することとし、既存の学校用地などの公共用地を活用します。なお、再配置までに生ずる小学校区の変更は、通学する児童・保護者への負担を考慮し最小限のものとなります。

●統合時期

H21 制定

小学校の統合時期は平成 3 4 年度を目途とします。ただし、児童数（推定・推計）によると、「適正規模」を保持し得る状況となるのは加悦地域では平成 2 8 年度以降に加悦小学校が、野田川地域は平成 3 4 年度以降に市場小学校がそれぞれ収容可能と予想されるが、統合時期については教育の機会均等を図る上で、一斉の統合が望まれる。なお、複式学級が生じる場合はその限りではない。

H28 改定

平成 3 4 年度を目途とする一斉再編ではなく、再編が可能なエリア（地域）から速やかに再編を進めていきます。

加悦地域においては、平成31年度から加悦小学校において教室数が収容可能となりますが、与謝小学校の1学年の児童見込数が2人となる平成33年度に加悦地域内における3小学校の一斉統合を目指します。

野田川地域においては、平成40年度以降でないと教室数が収容可能とならないこととなりますので、今後の児童数の状況変化等を踏まえて、統合時期を検討します。

R6 改定

加悦地域においては、令和2年度に加悦小学校に統合しましたので、残りは野田川地域となりました。

野田川地域においては、方針に掲げる適正規模になるのが令和12年度以降の見込みですので、可能な限りその時期の統合を目指します。

(3) 中学校

●適正規模

H21 制定

1学級30～35人、1学年3学級以上の学年編制と校区は複数の小学校という検討委員会の提言及び少子化傾向を踏まえると、将来、加悦中学校と江陽中学校を統合し、1中学校とする必要があります。

H28 改定 ※改定なし

R6 改定

1学級30～35人、1学年3学級以上の学年編制と校区は複数の小学校という検討委員会の提言及び少子化傾向を踏まえると、将来、加悦中学校と江陽中学校を統合し、1中学校とする必要があります。

特に加悦地域においては、小中学校の9年間が1学年1学級となり、クラス替えもできない状況が想定されることから、人間関係が固定的になることによる影響を減ずることが大切だと考えます。

●統合時期

H21 制定 ※記載なし

H28 改定 ※記載なし

R6 改定

加悦地域において、小中学校の9年間が1学年1学級となり、クラス替えもできない状況が出始めるのが令和12年度からの見込みなのに対し、加悦中学校と江陽中学校が方針に掲げる適正規模になるのが令和15年度以降の見込みですので、可能な限り令和15年度の統合を目指します。

(4) 通学距離及び通学時間

「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」（平成27年1月27日文部科学省）に基づき、次のように考えます。

●通学距離

小学校でおおむね4km以内、中学校ではおおむね6km以内という基準を、公立小・中学校の施設費の国庫負担対象となる学校統合の条件として定めていることから、徒歩や自転車による通学距離としては、小学校で4km以内、中学校で6km以内をおおよその目安とします。

●通学時間

通学時間について、「おおむね1時間以内」を一応の目安とします。

第3 配慮すべき点

(1) 地域とともにある学校の観点

子どもファーストの教育的観点を踏まえながら、併せて従来の地域コミュニティと子どもたちを持続的につなぐ取り組みについても、地域住民の理解と協力を得ながら進めます。

(2) 統合後の通学

小学校でおおむね4 km以内、中学校ではおおむね6 km以内という基準をおおよその目安としますが、児童生徒の心身への負担、また通学路の安全確保の状況や地理的な条件に加え、徒歩による通学なのか、一部の児童生徒について自転車通学を認めたり、スクールバスを導入したりするのかなども考慮の上、児童生徒の実態や地域の実情を踏まえて適切な通学距離基準の設定を検討します。

また、小学校においては、低学年の児童と高学年の児童との体力の違いも考慮に入れる必要があることから、児童生徒の発達段階、保護者のニーズ、通学路の安全確保、道路整備や交通手段の状況、気候条件等も踏まえて、学校・家庭・地域・町が連携を図り、通学時間が長くなることによるデメリットの緩和や解消ができる方策の検討を行います。

(3) 施設整備

現行施設は、全体的に経年劣化・老朽化が進んでいることから児童生徒が安心して安全に学校生活が過ごせるように、必要に応じて改修等を進めます。

また、統合校において教室（特別教室を含む。）に不足が生じないよう整備を行います。

(4) 教員配置上の配慮

統合後の児童生徒への教育活動が円滑にできるよう、教職員の配置について、京都府教育委員会に特段の配慮をお願いしていくとともに町教育委員会でも必要な支援に努めます。

(5) 交流事業の配慮

統合後の不安等を防ぎ、児童生徒がスムーズに学校生活が送れるように、統合前に交流事業を計画的に実施するとともに、教育課程の編成や学校運営の整合を図ります。

(6) 跡地活用

統合等により廃校となる跡地については、地域ニーズと前述（1）地域とともにある学校の観点を十分に踏まえ、「与謝野町公共施設等総合管理計画」に基づき利活用を検討していきます。

第4 「基本方針」の見直しについて

この基本方針は、今後、国や京都府における教育制度の変更や社会情勢の変化、また児童生徒数の動向等の状況変化を踏まえ、必要に応じて見直すものとします。

◎ 参 考 与謝野町の児童生徒数の現状と将来予測

●小学校

別表1 年齢別人数の推移・推計（令和5年5月1日現在の学年別及び住民登録より）

	6 年 生	5 年 生	4 年 生	3 年 生	2 年 生	1 年 生	6 歳 児	5 歳 児	4 歳 児	3 歳 児	2 歳 児	1 歳 児	0 歳 児	-1 歳 児	-2 歳 児	-3 歳 児	-4 歳 児
R5.5.1 現在	148	133	151	149	141	149	133	102	128	96	91	89	90	88	86	84	82

※0歳児以下の推測値は令和5年度の国立社会保障・人口問題研究所の推計値より逆算

別表2 学校別・学年別児童数の推移（令和5年5月1日現在）

令和5年度の児童数・学級数（現状）									
		加悦小	岩滝小	野田川地域					合計
				三河内小	市場小	山田小	石川小	計	
1 学年	人数	42	41	15	21	14	16	66	149
	学級	2	2	1	1	1	1	4	8
2 学年	人数	42	42	11	21	5	20	57	141
	学級	2	2	1	1	1	1	4	8
3 学年	人数	42	44	13	26	13	11	63	149
	学級	2	2	1	1	1	1	4	8
4 学年	人数	43	34	21	28	9	16	74	151
	学級	2	1	1	1	1	1	4	7
5 学年	人数	35	32	11	23	13	19	66	133
	学級	2	1	1	1	1	1	4	7
6 学年	人数	42	38	13	25	19	11	68	148
	学級	2	1	1	1	1	1	4	7
合計	人数	246	231	84	144	73	93	394	871
	学級①	12	9	6	6	6	6	24	45
特支学級等②		5	4	3	4	2	2	11	20
学級数合計 ①+②		17	13	9	10	8	8	35	65

※特支学級数等②＝特別支援学級数＋通級学級数

※特別支援学級在籍児童数については各学年人数に含む

令和10年度の児童数等の見込み									
		加悦小	岩滝小	野田川地域					合計
				三河内小	市場小	山田小	石川小	計	
1 学年	人数	29	14	10	14	11	13	48	91
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
2 学年	人数	21	32	13	13	8	9	43	96
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
3 学年	人数	35	33	14	22	8	16	60	128
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
4 学年	人数	21	32	8	18	11	12	49	102
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
5 学年	人数	33	32	10	32	11	17	70	135
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
6 学年	人数	42	41	15	21	14	16	66	149
	学級	2	2	1	1	1	1	4	8
合計	人数	181	184	70	120	63	83	336	701
	学級①	7	7	6	6	6	6	24	38
特支学級等②		5	4	3	4	2	2	11	20
学級数合計①+②		12	11	9	10	8	8	35	58

※特支学級等②＝（特別支援学級数＋通級学級）⇒（R5 年度と同数）

※特別支援学級在籍児童数については各学年人数に含む

令和10年度に統合した場合の児童数等の見込み					
		加悦小	岩滝小	野田川地域	合計
1 学年	人 数	29	14	48	91
	学 級	1	1	2	4
2 学年	人 数	21	32	43	96
	学 級	1	1	2	4
3 学年	人 数	35	33	60	128
	学 級	1	1	2	4
4 学年	人 数	21	32	49	102
	学 級	1	1	2	4
5 学年	人 数	33	32	70	135
	学 級	1	1	3	5
6 学年	人 数	42	41	66	149
	学 級	2	2	2	6
合 計	人 数	181	184	336	701
	学 級①	7	7	13	27
特支学級等②		5	4	11	20
学級数合計①+②		12	11	24	47

令和 1 1 年度の児童数等の見込み									
		加悦小	岩滝小	野田川地域					合計
				三河内小	市場小	山田小	石川小	計	
1 学年	人数	20	22	10	19	9	9	47	89
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
2 学年	人数	29	14	10	14	11	13	48	91
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
3 学年	人数	21	32	13	13	8	9	43	96
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
4 学年	人数	35	33	14	22	8	16	60	128
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
5 学年	人数	21	32	8	18	11	12	49	102
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
6 学年	人数	33	32	10	32	11	17	70	135
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
合計	人数	159	165	65	118	58	76	317	641
	学級①	6	6	6	6	6	6	24	36
特支学級等②		5	4	3	4	2	2	11	20
学級数合計①+②		11	10	9	10	8	8	35	56

※特支学級等②＝（特別支援学級数＋通級学級）⇒（R5 年度と同数）

※特別支援学級在籍児童数については各学年人数に含む

令和 1 1 年度に統合した場合の児童数等の見込み					
		加悦小	岩滝小	野田川地域	合計
1 学年	人 数	20	22	47	89
	学 級	1	1	2	4
2 学年	人 数	29	14	48	91
	学 級	1	1	2	4
3 学年	人 数	21	32	43	96
	学 級	1	1	2	4
4 学年	人 数	35	33	60	128
	学 級	1	1	2	4
5 学年	人 数	21	32	49	102
	学 級	1	1	2	4
6 学年	人 数	33	32	70	135
	学 級	1	1	3	5
合 計	人 数	159	165	317	641
	学 級①	6	6	13	25
特支学級等②		5	4	11	20
学級数合計①+②		11	10	24	45

令和12年度の児童数等の見込み									
		加悦小	岩滝小	野田川地域					合計
				三河内小	市場小	山田小	石川小	計	
1 学年	人数	24	29	－	－	－	－	37	90
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
2 学年	人数	20	22	10	19	9	9	47	89
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
3 学年	人数	29	14	10	14	11	13	48	91
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
4 学年	人数	21	32	13	13	8	9	43	96
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
5 学年	人数	35	33	14	22	8	16	60	128
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
6 学年	人数	21	32	8	18	11	12	49	102
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
合計	人数	150	162	－	－	－	－	284	596
	学級①	6	6	6	6	6	6	24	36
特支学級等②		5	4	3	4	2	2	11	20
学級数合計①＋②		11	10	9	10	8	8	35	56

※特支学級等②＝（特別支援学級数＋通級学級）⇒（R5 年度と同数）

※特別支援学級在籍児童数については各学年人数に含む

令和12年度に統合した場合の児童数等の見込み					
		加悦小	岩滝小	野田川地域	合計
1 学年	人 数	24	29	37	90
	学 級	1	1	2	4
2 学年	人 数	20	22	47	89
	学 級	1	1	2	4
3 学年	人 数	29	14	48	91
	学 級	1	1	2	4
4 学年	人 数	21	32	43	96
	学 級	1	1	2	4
5 学年	人 数	35	33	60	128
	学 級	1	1	2	4
6 学年	人 数	21	32	49	102
	学 級	1	1	2	4
合 計	人 数	150	162	284	596
	学 級①	6	6	12	24
特支学級等②		5	4	11	20
学級数合計①＋②		11	10	23	44

令和 1 3 年度の児童数等の見込み									
		加悦小	岩滝小	野田川地域					合計
				三河内小	市場小	山田小	石川小	計	
1 学年	人数	23	28	-	-	-	-	37	88
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
2 学年	人数	24	29	-	-	-	-	37	90
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
3 学年	人数	20	22	10	19	9	9	47	89
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
4 学年	人数	29	14	10	14	11	13	48	91
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
5 学年	人数	21	32	13	13	8	9	43	96
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
6 学年	人数	35	33	14	22	8	16	60	128
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
合計	人数	152	158	-	-	-	-	272	582
	学級①	6	6	6	6	6	6	24	36
特支学級等②		5	4	3	4	2	2	11	20
学級数合計①+②		11	10	9	10	8	8	35	56

※特支学級等②＝（特別支援学級数＋通級学級）⇒（R5 年度と同数）

※特別支援学級在籍児童数については各学年人数に含む

令和 1 3 年度に統合した場合の児童数等の見込み					
		加悦小	岩滝小	野田川地域	合計
1 学年	人 数	23	28	37	88
	学 級	1	1	2	4
2 学年	人 数	24	29	37	90
	学 級	1	1	2	4
3 学年	人 数	20	22	47	89
	学 級	1	1	2	4
4 学年	人 数	29	14	48	91
	学 級	1	1	2	4
5 学年	人 数	21	32	43	96
	学 級	1	1	2	4
6 学年	人 数	35	33	60	128
	学 級	1	1	2	4
合 計	人 数	152	158	272	582
	学 級①	6	6	12	24
特支学級等②		5	4	11	20
学級数合計①+②		11	10	23	44

令和14年度の児童数等の見込み									
		加悦小	岩滝小	野田川地域					合計
				三河内小	市場小	山田小	石川小	計	
1 学年	人数	23	28	-	-	-	-	36	87
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
2 学年	人数	23	28	-	-	-	-	37	88
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
3 学年	人数	24	29	-	-	-	-	37	90
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
4 学年	人数	20	22	10	19	9	9	47	89
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
5 学年	人数	29	14	10	14	11	13	48	91
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
6 学年	人数	21	32	13	13	8	9	43	96
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
合計	人数	140	153	-	-	-	-	248	541
	学級①	6	6	6	6	6	6	24	36
特支学級等②		5	4	3	4	2	2	11	20
学級数合計①+②		11	10	9	10	8	8	35	56

※特支学級等②＝（特別支援学級数＋通級学級）⇒（R5 年度と同数）

※特別支援学級在籍児童数については各学年人数に含む

令和14年度に統合した場合の児童数等の見込み					
		加悦小	岩滝小	野田川地域	合計
1 学年	人 数	23	28	36	87
	学 級	1	1	2	4
2 学年	人 数	23	28	37	88
	学 級	1	1	2	4
3 学年	人 数	24	29	37	90
	学 級	1	1	2	4
4 学年	人 数	20	22	47	89
	学 級	1	1	2	4
5 学年	人 数	29	14	48	91
	学 級	1	1	2	4
6 学年	人 数	21	32	43	96
	学 級	1	1	2	4
合 計	人 数	140	153	248	541
	学 級①	6	6	12	24
特支学級等②		5	4	11	20
学級数合計①+②		11	10	23	44

令和 1 5 年度の児童数等の見込み									
		加悦小	岩滝小	野田川地域					合計
				三河内小	市場小	山田小	石川小	計	
1 学年	人数	22	27	-	-	-	-	35	84
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
2 学年	人数	23	28	-	-	-	-	36	87
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
3 学年	人数	23	28	-	-	-	-	37	88
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
4 学年	人数	24	29	-	-	-	-	37	90
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
5 学年	人数	20	22	10	19	9	9	47	89
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
6 学年	人数	29	14	10	14	11	13	48	91
	学級	1	1	1	1	1	1	4	6
合計	人数	141	148	-	-	-	-	240	529
	学級①	6	6	6	6	6	6	24	36
特支学級等②		5	4	3	4	2	2	11	20
学級数合計①+②		11	10	9	10	8	8	35	56

※特支学級等②＝（特別支援学級数＋通級学級）⇒（R5 年度と同数）

※特別支援学級在籍児童数については各学年人数に含む

令和 1 5 年度に統合した場合の児童数等の見込み					
		加悦小	岩滝小	野田川地域	合計
1 学年	人 数	22	27	35	84
	学 級	1	1	1	3
2 学年	人 数	23	28	36	87
	学 級	1	1	2	4
3 学年	人 数	23	28	37	88
	学 級	1	1	2	4
4 学年	人 数	24	29	37	90
	学 級	1	1	2	4
5 学年	人 数	20	22	47	89
	学 級	1	1	2	4
6 学年	人 数	29	14	48	91
	学 級	1	1	2	4
合 計	人 数	141	148	240	529
	学 級①	6	6	11	23
特支学級等②		5	4	11	20
学級数合計①+②		11	10	22	43

●中学校

別表3 年齢別人数の推移・推計（令和5年5月1日現在の学年別）

	中3 年生	中2 年生	中1 年生	小6 年生	小5 年生	小4 年生	小3 年生	小2 年生	小1 年生
R5.5.1 現在	163	164	152	148	133	151	149	141	149

別表4 学校別・学年別生徒数の推移（令和5年5月1日現在）

令和5年度の生徒数・学級数（現状）								
		与謝野町			与謝野町宮津市中学校組合			合計 ①＋②
		加悦中	江陽中	計①	岩滝②	宮津市	計	
1 学年	人数	41	67	108	44	28	72	152
	学級	2	2	4			2	6
2 学年	人数	48	71	119	45	30	75	164
	学級	2	2	4			2	6
3 学年	人数	46	66	112	51	27	78	163
	学級	2	2	4			3	7
合 計	人数	135	204	339	140	85	225	479
	学級①	6	6	12			7	19
特支学級等②		2	3	5			5	10
学級数合計 ①＋②		8	9	17	0	0	12	29

※特支学級等②＝特別支援学級数＋通級学級

※特別支援学級在籍生徒数については各学年人数に含む

令和10年度の生徒数等の見込み								
		与謝野町			与謝野町宮津市中学校組合			合計
		加悦中	江陽中	計①	岩滝②	宮津市	計	①＋②
1 学年	人数	42	57	99	42		42	141
	学級	2	2	4				4
2 学年	人数	42	63	105	44		44	149
	学級	2	2	4				4
3 学年	人数	43	74	117	34		34	151
	学級	2	3	5				5
合 計	人数	127	194	321	120	0	120	441
	学級①	6	7	13			0	13
特支学級等②		2	3	5			5	10
学級数合計①＋②		8	10	18	0	0	5	23

※特支学級等②＝（特別支援学級数＋通級学級）⇒（R5 年度と同数）

※特別支援学級在籍生徒数については各学年人数に含む

令和10年度に統合した場合の生徒等の見込み			
		加悦＋江陽	合計
1 学年	人 数	99	99
	学 級	4	4
2 学年	人 数	105	105
	学 級	4	4
3 学年	人 数	117	117
	学 級	4	4
合計	人 数	321	321
	学級①	12	12
特支学級等②		5	5
学級数合計①＋②		17	17

令和 1 1 年度の生徒数等の見込み								
		与謝野町			与謝野町宮津市中学校組合			合計
		加悦中	江陽中	計①	岩滝②	宮津市	計	①＋②
1 学年	人数	42	66	108	41		41	149
	学級	2	2	4				4
2 学年	人数	42	57	99	42		42	141
	学級	2	2	4				4
3 学年	人数	42	63	105	44		44	149
	学級	2	2	4				4
合 計	人数	126	186	312	127	0	127	439
	学級①	6	6	12			0	12
特支学級等②		2	3	5			5	10
学級数合計①＋②		8	9	17	0	0	5	22

※特支学級等②＝（特別支援学級数＋通級学級）⇒（R5 年度と同数）

※特別支援学級在籍生徒数については各学年人数に含む

令和 1 1 年度に統合した場合の生徒等の見込み			
		加悦＋江陽	合計
1 学年	人 数	108	108
	学 級	4	4
2 学年	人 数	99	99
	学 級	4	4
3 学年	人 数	105	105
	学 級	4	4
合計	人 数	312	312
	学級①	12	12
特支学級等②		5	5
学級数合計①＋②		17	17

令和12年度の生徒数等の見込み								
		与謝野町			与謝野町宮津市中学校組合			合計
		加悦中	江陽中	計①	岩滝②	宮津市	計	①＋②
1 学年	人数	33	70	103	32		32	135
	学級	1	3	4				4
2 学年	人数	42	66	108	41		41	149
	学級	2	2	4				4
3 学年	人数	42	57	99	42		42	141
	学級	2	2	4				4
合 計	人数	117	193	310	115	0	115	425
	学級①	5	7	12			0	12
特支学級等②		2	3	5			5	10
学級数合計①＋②		7	10	17	0	0	5	22

※特支学級等②＝（特別支援学級数＋通級学級）⇒（R5 年度と同数）

※特別支援学級在籍生徒数については各学年人数に含む

令和12年度に統合した場合の生徒等の見込み			
		加悦＋江陽	合計
1 学年	人 数	103	103
	学 級	4	4
2 学年	人 数	108	108
	学 級	4	4
3 学年	人 数	99	99
	学 級	4	4
合計	人 数	310	310
	学級①	12	12
特支学級等②		5	5
学級数合計①＋②		17	17

令和13年度の生徒数等の見込み								
		与謝野町			与謝野町宮津市中学校組合			合計
		加悦中	江陽中	計①	岩滝②	宮津市	計	①＋②
1 学年	人数	21	49	70	32		32	102
	学級	1	2	3				3
2 学年	人数	33	70	103	32		32	135
	学級	1	3	4				4
3 学年	人数	42	66	108	41		41	149
	学級	2	2	4				4
合 計	人数	96	185	281	105	0	105	386
	学級①	4	7	11			0	11
特支学級等②		2	3	5			5	10
学級数合計①＋②		6	10	16	0	0	5	21

※特支学級等②＝（特別支援学級数＋通級学級）⇒（R5 年度と同数）

※特別支援学級在籍生徒数については各学年人数に含む

令和13年度に統合した場合の生徒等の見込み			
		加悦＋江陽	合計
1 学年	人 数	70	70
	学 級	3	3
2 学年	人 数	103	103
	学 級	4	4
3 学年	人 数	108	108
	学 級	4	4
合計	人 数	281	281
	学級①	11	11
特支学級等②		5	5
学級数合計①＋②		16	16

令和14年度の生徒数等の見込み								
		与謝野町			与謝野町宮津市中学校組合			合計
		加悦中	江陽中	計①	岩滝②	宮津市	計	①＋②
1 学年	人数	35	60	95	33		33	128
	学級	1	2	3				3
2 学年	人数	21	49	70	32		32	102
	学級	1	2	3				3
3 学年	人数	33	70	103	32		32	135
	学級	1	3	4				4
合 計	人数	89	179	268	97	0	97	365
	学級①	3	7	10			0	10
特支学級等②		2	3	5			5	10
学級数合計①＋②		5	10	15	0	0	5	20

※特支学級等②＝（特別支援学級数＋通級学級）⇒（R5 年度と同数）

※特別支援学級在籍生徒数については各学年人数に含む

令和14年度に統合した場合の生徒等の見込み			
		加悦＋江陽	合計
1 学年	人 数	95	95
	学 級	3	3
2 学年	人 数	70	70
	学 級	3	3
3 学年	人 数	103	103
	学 級	4	4
合計	人 数	268	268
	学級①	10	10
特支学級等②		5	5
学級数合計①＋②		15	15

令和15年度の生徒数等の見込み								
		与謝野町			与謝野町宮津市中学校組合			合計 ①＋②
		加悦中	江陽中	計①	岩滝②	宮津市	計	
1 学年	人数	21	43	64	32		32	96
	学級	1	2	3				3
2 学年	人数	35	60	95	33		33	128
	学級	1	2	3				3
3 学年	人数	21	49	70	32		32	102
	学級	1	2	3				3
合 計	人数	77	152	229	97	0	97	326
	学級①	3	6	9			0	9
特支学級等②		2	3	5			5	10
学級数合計①＋②		5	9	14	0	0	5	19

※特支学級等②＝（特別支援学級数＋通級学級）⇒（R5 年度と同数）

※特別支援学級在籍生徒数については各学年人数に含む

令和15年度に統合した場合の生徒等の見込み			
		加悦＋江陽	合計
1 学年	人 数	64	64
	学 級	2	2
2 学年	人 数	95	95
	学 級	3	3
3 学年	人 数	70	70
	学 級	3	3
合計	人 数	229	229
	学級①	8	8
特支学級等②		5	5
学級数合計①＋②		13	13

■ 統合の際の学級編制については、京都式少人数教育における学級編制とする。

学 年 人 数	1～35 人	36～68 人	69～96 人	97～124 人	125～150 人
学 級 数	1	2	3	4	5